

イノベーション創発に対する  
科学的アプローチ  
(イノベーションテック)

VISITS Technologies株式会社  
CEO 松本 勝

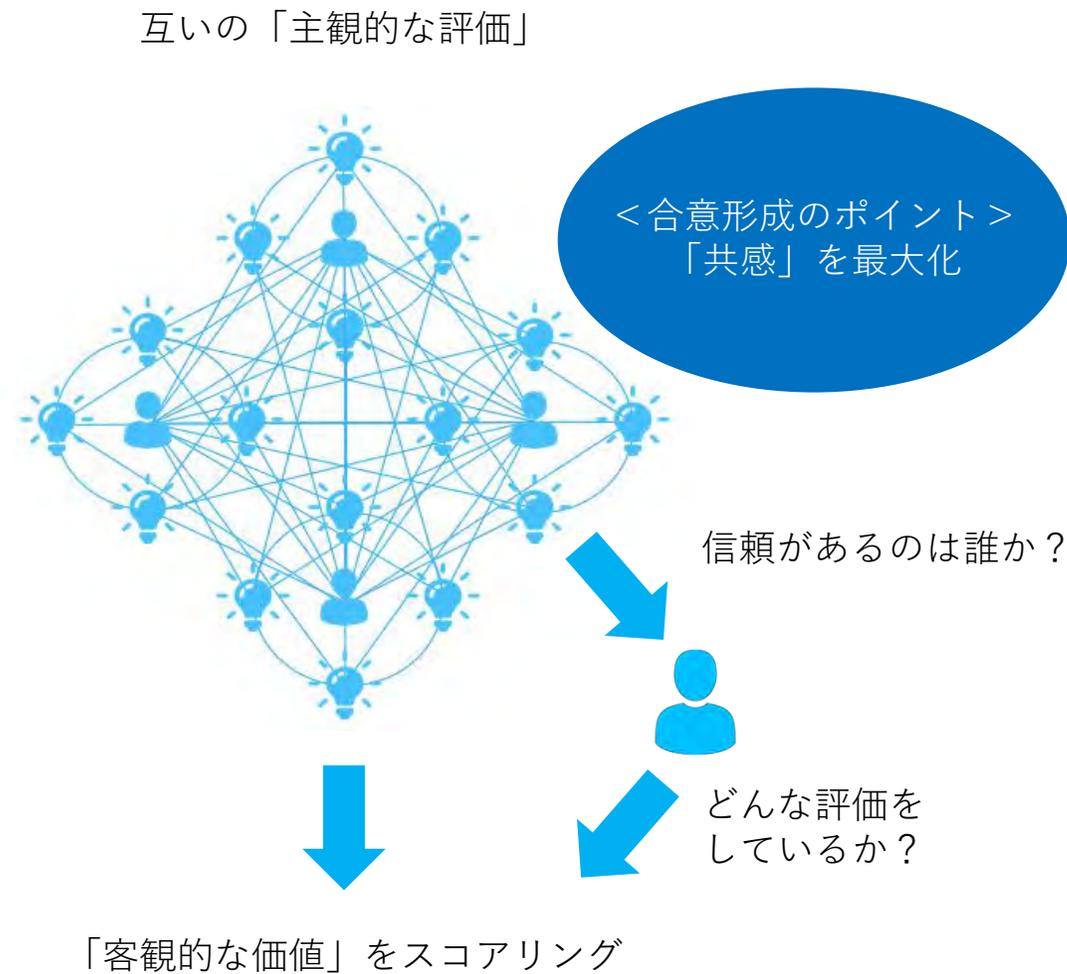
< 会社概要 >

会社名	VISITS Technologies株式会社
代表者	松本 勝
本社所在地	東京都千代田区丸の内2丁目3-2 郵船ビルディング2階
海外拠点	サンノゼ シンガポール
設立	2014年6月
従業員数	58名（役員を除く正社員数）※2019年5月末現在
事業内容	イノベーションテック事業

<ミッション>

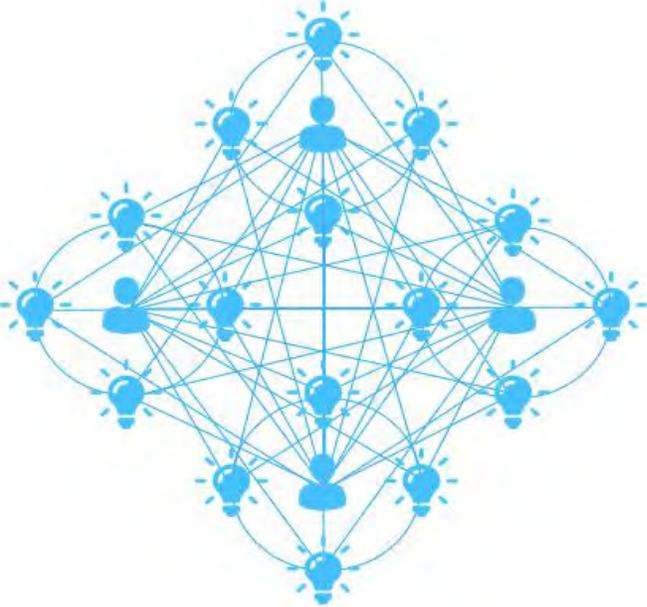
創造性を科学し、世界中の誰もが社会価値創造に  
貢献できるエコシステムを構築する

「定性的な価値」を定量化する独自特許技術  
コンセンサス・インテリジェンス (CI)



# 課題例（1）多くのアイデアのうち、どれを選べば良いか分からない

<オンラインセッション>



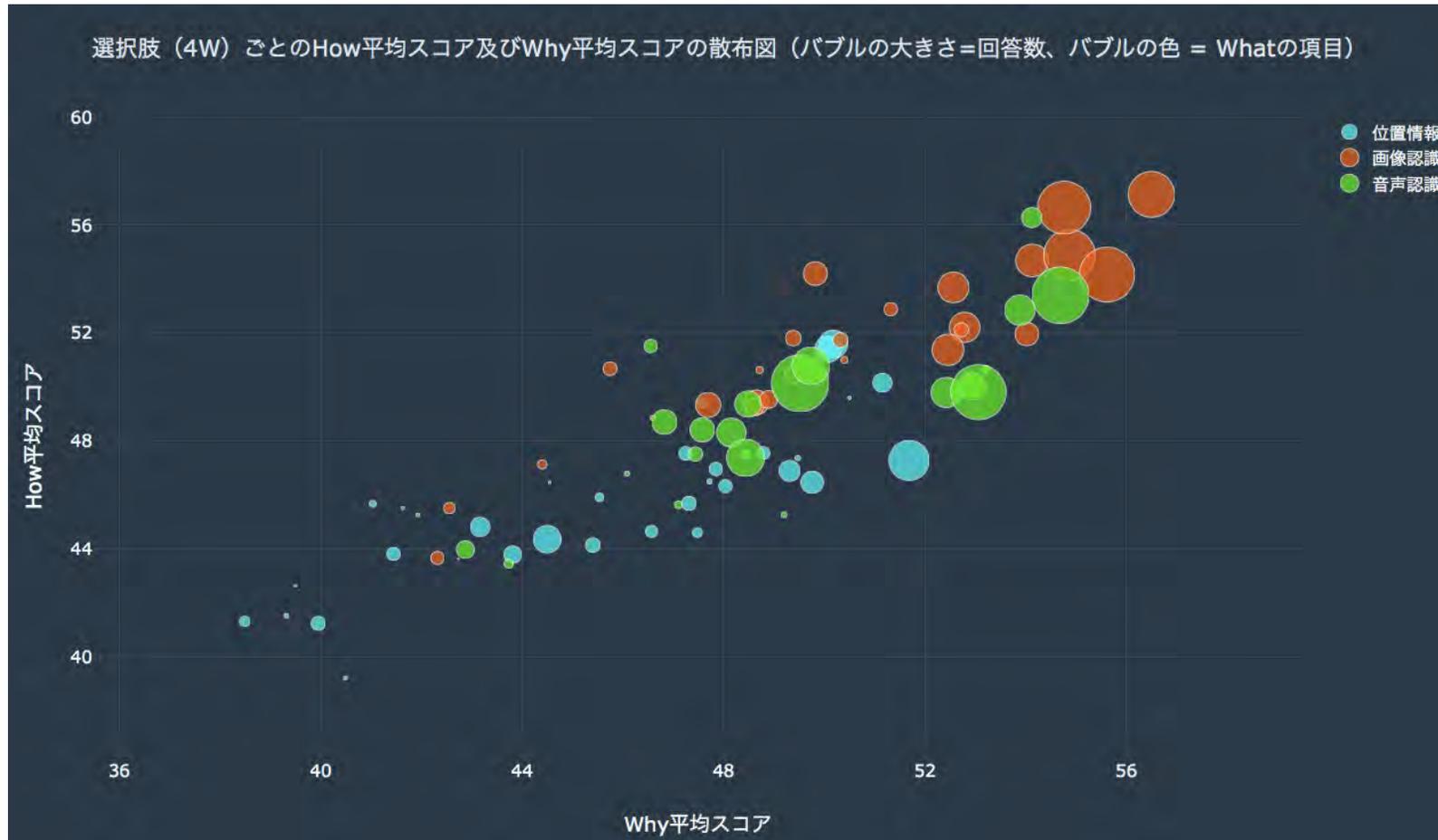
Session1 アイデア出し  
Session2 相互評価

<アイデアランキング>

創造カスコア						評価カスコア	
56.84						Why評価力 60.93	
						How評価力 60.88	
アイデア	グラフ						
偏差値	Who	Where	When	What	Why	How	
66.19 (12位)	心配性な人	職場	会話中	音声認識	タスクが出たときに、手帳に書いたり、PCに打ち込んだり、手間がかかるもの。書き込む手間を省いて、タスクをどう処理していくか検討することに時間を費やしたい。	打ち合わせ中に会話でできたタスクを音声認識し、自動で文字化してくれる。	
59.96 (32位)	完璧主義な人	職場	会話中	音声認識	パワハラやセクハラのような会話を防ぐ・無くす	パワハラ・セクハラに関連する会話を音声認識し、注意を促すしくみ	
57.48 (41位)	面倒くさがりな人	飲食店	体調が悪い時	位置情報	体調が悪い時は、外にでるのもつらい、飲食物を出前なり、宅配して届けてほしい、症状に合わせて薬もほしい・・・	体調が悪い時は、住所を入力するのも手間なもの。位置情報を知らせるだけで、食べ物や薬を届けてくれる仕組み	
55.71 (46位)	心配性な人	職場	体調が悪い時	音声認識	体調がすぐれないときに職場ではなかなか言い出しにくいもの・・・そんなときに、客観的に体調がすぐれないことを判断し、メンバーや上司にアラートを上げてくれる仕組みがほしい	声量や高さなど声を認識し、フィジカルだけでなく、メンタルの状況を判別し、元気がないときに、メンバーや上司に知らせてくれる仕組み	
48.79 (92位)	面倒くさがりな人	職場	会話中	音声認識	打ち合わせの結果から出てくるルーティンワーク（議事録・スケジュール作成など）は面倒くさく、時間がかかる。自動で要点を拾って、完全版とは言わなくても、たたき台を作ってほしい。	決まったことを確認・復唱するタイミング（たとえば打ち合わせのクロージングなど）で、音声認識を搭載したデバイスに向かって話すだけで、アウトプットとして、たたき台が文字で出てくる。	

## 課題例（2）社内で眠っている技術等の知財を活用したい

どの技術を活用すればイノベーションを起こしやすいかを可視化



# 課題例 (3) 社内でアイデアを蓄積してナレッジをシェアしたい (SaaS)

## <アイデアランキング>

創造力スコア	評価力スコア					
56.84 Why評価力 56.88 How評価力 54.88	60.93 Why評価力 60.93 How評価力 60.85					
アイデア	グラフ					
順位	Who	Where	When	What	Why	How
66.19 (12位)	心配性な人	職場	会話中	音声認識	タスクが出たときに、手帳に書いたり、PCに打ち込んだり、手間がかかるもの。書き込む手間を省いて、タスクをどう処理していくか検討することに時間を費やしたい。	打ち合わせ中に会話でできたタスクを音声認識し、自動で文字化してくれる。
59.96 (32位)	完璧主義な人	職場	会話中	音声認識	パワハラやセクハラのような会話を防ぐ・無くす	パワハラ・セクハラに関連する会話を音声認識し、注意を促すしくみ
57.48 (41位)	面倒くさがりな人	飲食店	体調が悪い時	位置情報	体調が悪い時は、外にでるのもつらい、飲食物を出前なり、宅配して届けてほしい、症状に合わせて薬もほしい・・・	体調が悪い時は、住所を入力するのも手間なもの。位置情報を知らせるだけで、食べ物や薬を届けてくれる仕組み
55.71 (48位)	心配性な人	職場	体調が悪い時	音声認識	体調がすぐれないときに職場ではなかなか言い出しにくいもの・・・そんなときに、客観的に体調がすぐれないことを判断し、メンバーや上司にアラートを上げてくれる仕組みがほしい	声量や高さなど声を認識し、フィジカルだけでなく、メンタルの状況を判別し、元気がないときに、メンバーや上司に知らせてくれる仕組み
48.79 (92位)	面倒くさがりな人	職場	会話中	音声認識	打ち合わせの結果から出てくるルーティンワーク（議事録・スケジュール作成など）は面倒くさく、時間がかかる。自動で要点を拾って、完全版とは言わなくても、たたき台を作ってほしい。	決まったことを確認・復唱するタイミング（たとえば打ち合わせのクロージングなど）で、音声認識を搭載したデバイスに向かって話すだけで、アウトプットとして、たたき台が文字で出てくる。

連携



「Who=完璧主義な人 Where=飲食店 When=買い物中」に関する5つ目のアイデア

<b>Who</b> 完璧主義な人	<b>Where</b> 飲食店
<b>When</b> 買い物中	<b>What</b> 音声認識

**Why**  
1歳の赤ちゃんを連れて母親が飲食店で食事をしている。赤ちゃんが泣き出してしまったがなかなか泣き止まない。静かな高級店なので周囲に迷惑をかけたくないと思っている。

**How**  
赤ちゃん翻訳機を開発する。音声認識により赤ちゃんの泣き声を解析し、要望を画面に映し出す。翻訳機には3Dプリンターが搭載されており、要望を叶えるために必要なアイテムが排出されるような仕組みになっている。

from ideagram

他のアイデアも見てみますか？ (yes/no)

takuya.h 02:50  
yes

visits\_search アプリ 02:50

「Who=完璧主義な人 Where=飲食店 When=買い物中」に関する6つ目のアイデア

<b>Who</b> 完璧主義な人	<b>Where</b> 飲食店
<b>When</b> 買い物中	<b>What</b> 画像認識

**Why**  
完璧主義であるため自分の健康についても完璧に管理したい。自分の食べているものの産地や新鮮度栄養のバランスまで正確に把握し健康的な食事をする事で常に他のことも完璧にこなせるような万全な状態でありたい。

**How**  
食べ物をカメラで写すことで、その食べ物の産地や栄養素、カロリーなどが一挙に表示される画像認識アプリを作る。また二つ以上の食べ物を写すことで、組み合わせのよさや成分の相互作用なども表示し、最も良い組み合わせで食事を行えるようにする。

from ideagram

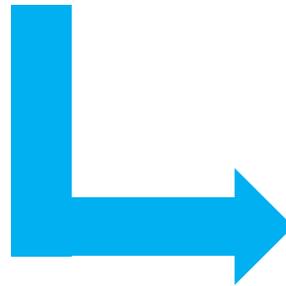
他のアイデアも見てみますか？ (yes/no)

takuya.h 02:51  
no

visits\_search アプリ 02:51  
次回のご利用をお待ちしておりますm(\_)\_m

+ 食べ痛い @ 😊 送信

連携



## 課題例（4）アイデアをブラッシュアップして事業化したい（SaaS）

各アイデアの価値を学習して、アイデアの改善レコメンドを自動で行ってくれる

アイデア統合画面 ideagram

アイデア検索      統合レコメンド      統合結果の確認

レコメンド区分（必須）

Why  × ▲

Why  (必須)

How

Howを入力...

4W検索（任意）

Who     Where     When     What

フリーワード検索（任意）

フリーワード検索

偏差値下限設定（任意）

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100

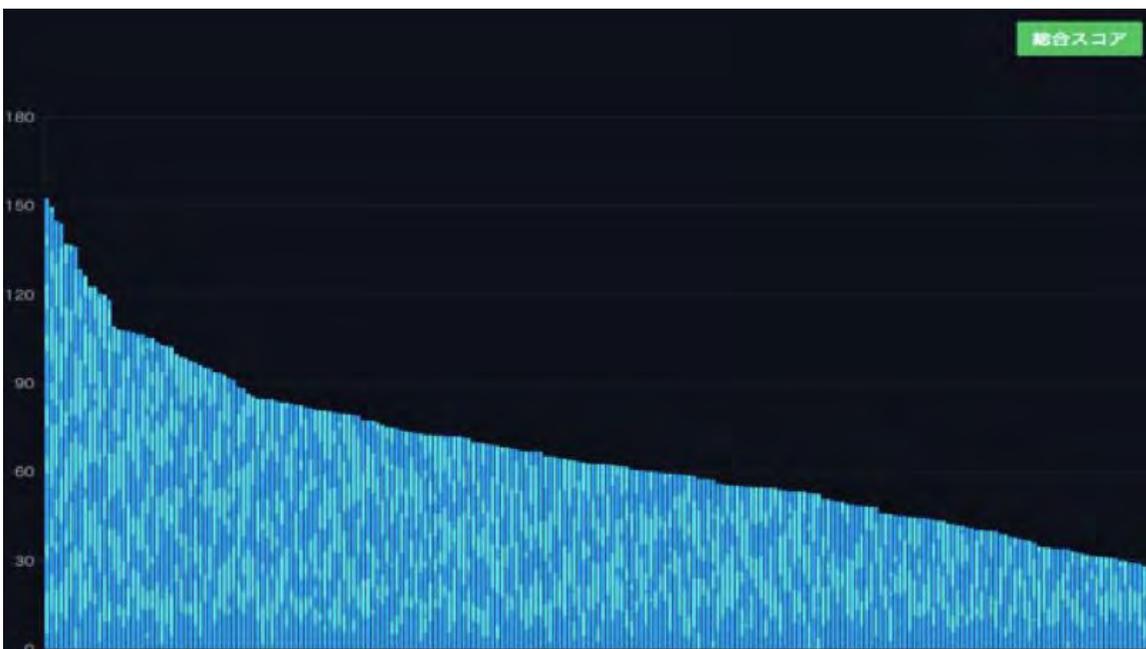
レコメンドを実行

<>

# 課題例 (5) イノベーションを誰でも起こせるようにしたい

## デザイン思考テストを開発

- ・ イノベーション人材発掘
- ・ (初年度) 受検者2万人以上



## イノベーター人材育成のための科学的フレームワークを独自に研究開発

ニーズをデザインする「統合思考」

### トレードオフ関係にある2つ以上のニーズを統合する

トレードオフ関係にある2つ以上のニーズを統合し、そのニーズを満たす事ができれば、イノベーションが起こる可能性が高い。例えば、右図のように、ニーズAを満たすソリューションだとニーズBが満たせず、逆にニーズBを満たすソリューションだとニーズAが満たせないような、2つのニーズAとBの統合である。

世の中の他のサービスは、トレードオフ関係のために、右図のようなトレードオフライン近辺に集積しているはずであり、そこはレッドオーシャンである。その中で、自社だけが唯一トレードオフを解決できるアイデアを創出しサービス化できれば、そこは競合がいないブルーオーシャンである。

トレードオフを解いてイノベーションを起こした例として、ユニクロの「ヒートテック」が挙げられる。例えば、周りに注目されたい若い女性 (Who) が、街 (Where) を冬場に歩いている時 (When)、冬なので「暖かいたい」というニーズを持つと同時に、「周りに注目されたい」ので「おしゃれをしたい」というニーズも同時に持つだろう。

ところが、ヒートテックが開発される前は、暖かくするために服を重ね着する必要があり、重ね着しておしゃれできない。一方、おしゃれを優先すると、薄着のため暖かくない、という問題があった。ユニクロは、ヒートテックの開発により「薄着なのに暖かい」を実現し、この「トレードオフ関係」を解くことで大ヒットを記録した。重要なのは、「強いニーズ同士のトレードオフ関係」の発見と、それを解決するソリューションの発見である。

先ほどの牛丼の例においても、「安いに美味しい」や「美味しいのにすぐ食べられる (通常、フレンチのように美味しいものは時間がかかる傾向がある)」などのトレードオフを解いている。

「〇〇なのに〇〇」と言われるようなサービスが、良い意味で人の期待を裏切り、感動を生む大ヒットサービスとなり得るのである。

その知の枠を超えて新しいニーズを創出し、インノベーションを起こす力であり、これを「ニーズの転換」と呼ぶ。

ニーズの転換が起こり得るのが、ニーズを考える視点で、風にバイアスが掛かっていることがあるからだ。この場合、誰もそのニーズに気づいていないことも多く、ブルーオーシャンなアイデアである可能性が高い。

先ほどの例で考えると、「目的地に早く着きたい」という願望を叶えるために、馬車以外の移動方法を考え、蒸気機関車が生れた。これに対し、「そもそも目的地に着くまでが第一の願望なのだからその移動時間自体をエンターテインメントにして、『時間をかけてゆっくり行きたい』と思わせられないだろうか?」と考えるのである。

そうすると、右の①の領域には、移動時間を楽しませる馬車のアイデアがどんどん生まれてくる。例えば、「豪華な馬車と遊べる馬車」、「色んな水が湧き出る豪華な馬車」(馬車で遊びたい) など、アイデアは尽きない。

さらに、②の領域には、「移動時間を楽しむ、馬車以外の移動手段」のアイデアが生まれてくる。移動時間を楽しむの目的なら、馬車の他に楽しめる動物である必要はむしろなく、空間を広くするためにもっと力のある動物を考えるだろう。

決断を転換するためには、少なくとも右の4つのマトリックスを想定の、というところをお勧めする。

## 課題例 (5) イノベーションを誰でも起こせるようにしたい

イノベーション創発の研究コンソーシアムを立ち上げ、得られた知見を社会に還元

### 新事業の芽、社外で共有 トヨタなど約50社が連合

金融機関 スタートアップ ネット・IT エレクトロニクス 自動車・機械 環境エネ・素材  
サービス・食品

2019/4/15 18:58

📌 保存 📧 共有 🖨️ 印刷 🌐 🐦 f その他

トヨタ自動車や全日本空輸など、約50社の大手企業が新事業開発に向け連携する企業連合「イノベーションテックコンソーシアム」が15日、発足した。各企業が持ち寄った新事業のアイデアや技術を数値で評価し、組織の壁をこえた開放型のイノベーションを促す。アイデアの「取引所」とも呼ぶべき形態を生かし、新しいサービスや製品の創出を目指す。

同連合には、アサヒグループホールディングス、KDDI、東京電力ホールディングス、東京ガス、伊藤忠商事なども参加。金融大手では三菱UFJ銀行などメガバンク3行や野村ホールディングスなどが名を連ねている。



🔍 画像の拡大

車、航空、金融、商社など幅広い業種にまたがる大企業が参加する連合は異例だ。背景には自前主義に固執し、事業開発で世界に後れを取ってきた日本の大企業の危機感がある。

イノベーションテックコンソーシアムの設立総会（15日、都内）

<活動例>

Who 誰か	Where どこで	When いつ	What 何を
面倒くさがりな人	学校	買い物中	音声情報
完璧主義な人	自宅	会話中	位置情報
目立ちたがりな人	飲食店	体調が悪い時	画像情報

**Why** Whoの叶えたい願い 0  
20文字以上、120文字以内で入力して下さい。

**How** Whoの願いを叶えるアイデア 0  
20文字以上、120文字以内で入力して下さい。

4Wに複数社のシーズを入れて、科学的にオープンイノベーションを加速させる

ベンチャーとのマッチングもより効率的に

## <本事業にかける想い>



アイザック・ニュートン  
(1642 -1727)

”ニュートンはリンゴが落ちるのを見て、なぜ横や上でなく真下に落ちたのかという疑問を抱いたことがきっかけで、「重力理論」を完成させた”



「創造性」を科学し、「イノベーション理論」を確立できるのではないか？

誰もがスティーブ・ジョブズのように、世の中を変革できる人材になれるのではないか？

誰もが自分の存在価値を「自己承認」できて、幸せになれるのではないか？

イノベーションテックで  
日本を再びイノベーション大国に

ご清聴ありがとうございました